

「経穴使用頻度調査」の研究協力をお願い

九州看護福祉大学大学院 健康支援科学専攻
篠原昭二

現在 361 の経穴が教育施設において教授されておりますが、臨床の現場で使用される経穴はどれくらいあるのか、それぞれの経穴の臨床における使用頻度について認識する必要がありますと考えています。ご多用の折、誠に恐縮ですが、添付のアンケート用紙にご記入頂きますようお願い致します。

なお、個人情報については、オープンに出来ないようにしております。また、アンケートには約 30 分程度の時間を要しますことを、お断り申し上げます。

アンケートの書き方

先ず、あなたの年齢、性別、臨床歴、職種(医師、鍼灸師、その他の所有する関連資格)、専門領域、勤務形態(医院、鍼灸院、鍼灸整骨院、その他)をお書き下さい。特別な流派や研究会(北辰会、内経医学会等)に所属されている方は流派や研究会の名称をお書き下さい。

- ・臨床歴は、恐縮ですが年単位で四捨五入してお書き下さい。
- ・鍼灸と関連する学会に所属されている場合には、学会名の前の（ ）に○印をお書き下さい。

・治療方式は、現代医学的病態把握による治療を主とする場合は[現代的]、中医学的な弁証論治をされる場合には[中医]、経絡治療による場合には[経絡]の所に該当する項目のカッコ内に、100%とお書きください。一方、現代的病態把握と中医学的な選穴を併用される、或いは、経絡治療等も時に併用されるという場合には、それぞれの比率をカッコ内に%でお書き下さい。

※現代的に用いられる先生は各部位ごとの疾患で使用頻度をお書き下さい。

例:)肩関節痛では、肩髃穴を 80%以上使用する場合には「肩:5」とお書き下さい。

- ・専門領域：学会で認定を受けている西洋医学診療領域（内科専門医、小児科専門医など）または、主たる診療科をお書きください。

アンケートの項目は、鍼で使用する頻度、灸で使用する頻度、特効穴の 3 項目です。

鍼および灸で使用する頻度については、361 穴について、

8 割以上の患者さんに使用している経穴であれば「5」

半分(5 割)以上の患者さんに使用している経穴であれば、「4」

使用頻度は少ない(3 割程度)が、それなりに使用している経穴の場合には「3」

ごくたまに使用したことがある経穴の場合には「2」

未だかつて 1 度も使用したことがない経穴の場合には、「1」をお書き下さい。

特効穴の欄には、1 或いは 2 穴程度の組み合わせで著効を得たか、使用頻度が極めて高い症状があれば、愁訴名をお書き下さい。たとえば、手陽明大腸経の肩髃穴：「蕁麻疹の灸:5」、足厥陰肝経の蠡溝穴：「陰部搔痒症の灸:5」などとお書き下さい。更に、至陰などのよう

に、逆子の場合にのみ灸治療で使用する場合には、特効穴の欄に「逆子の灸:5」とお書き下さい。

また、奇穴に関しても同様にお書き下さい。最後には自由記述・ご意見の欄を設けております。

なおアンケート調査によって明らかになりましたデータについては、日本東洋医学会において報告させて頂く予定にしております。

回収方法

・Mac の場合

エクセルファイルでの入力作業が終わった後、閉じるボタンを押すか、保存を選択すると、ファイルネームや保存場所等を指定する画面が出ます。その中の「オプション」を選択すると、「バックアップファイルの作成」、「読み取りパスワード」、「書き込みパスワード」、「読み取り専用を推奨」するの選択画面が表示されます。その中の、「読み取りパスワード」欄に任意のパスワードを打ち込んで（あまり複雑にしないで下さい。できれば4桁の数字がありがたいです）、OK ボタンを押すと、パスワード設定のされたエクセルファイルができます。

・Windows の場合

エクセルファイルでの入力作業が終わった後、上のリボンから「ファイル」タブをクリックします。その中で「名前を付けて保存」を選択します。次に、保存の横に出る「ツール」を選択し、その中の「全般オプション」を選択します。

その中の、「読み取りパスワード」欄に任意のパスワードを打ち込んで（あまり複雑にしないで下さい。できれば4桁の数字がありがたいです）、OK ボタンを押すと、パスワード設定のされたエクセルファイルができます。

・パスワード設定完了後

Mac・Windows 共に、パスワード設定が完了したファイルをメールに添付して送信して下さい。

また、別メールで、パスワードの記号または番号をメールで送信いただきますようお願いいたします。

ご不明な点がございましたら、下記メールまたはファクス(篠原昭二)宛にお問い合わせ下さいますようお願い致します。

本研究は、日本東洋医学会鍼灸学術委員会の協力を得て実施しておりますが、本研究の趣旨をご理解いただき、同意いただける場合は、別紙(ファイル)のアンケート用紙にご協力くださいますようお願い申し上げます。

問い合わせおよびアンケート返信用アドレス：keiraku.research@gmail.com

電話・ファクス：0968-75-1937

篠原昭二：〒865-0062 熊本県玉名市富尾 8 8 8

九州看護福祉大学大学院 健康支援科学専攻

期限：10月 末日迄

記入例1

経穴使用頻度調査用アンケート

年齢: 52歳、性別:(男・女) (整理用 No.)

臨床歴: 24年

治療方式: 現代的(50%)、中医(30%)、経絡(20%)

主とする治療方式: (現代的)

所属学会: ()日本東洋医学会、()全日本鍼灸学会、()日本伝統鍼灸学会、()

経絡治療学会、その他(日本小児神経学会、日本小児科学会、日本内科学会)

※専門領域: (学会の認定または主たる診療科): 小児神経専門医、内科、小児科

勤務形態: 病院、医院、鍼灸院、鍼灸整骨院、その他:)

次に記している項目のうち特に重視しているものは4、重視しているものは3、時々参考にするものは2、全く使わないものは1を[]の中にご記入ください。

穴位効能(穴性:例えば合谷は疏風解表、通経活絡など)は利用されていますか。 [2]

経穴の主治病証(例えば発熱、鼻血、歯痛、喉の腫痛など)は利用されていますか。 [2]

刺鍼の際に得気(刺鍼部位の酸(だるい)、脹(腫れぼったい)、重(思い)、麻(しびれる)といった鍼響を指標にしていますか。 [2]

刺鍼の目安として参考になっているもの: 得気(鍼響)[2]、鍼妙(刺鍼抵抗の変化[1] 手下感(押し手に感じられる感覚)[1]

以下の表の中に各経穴について使用頻度を鍼、灸に分けてお書き下さい。なお、8割以上の患者さんに使用している経穴には[5]、半分(5割)以上の患者さんに使用している経穴には[4]、使用頻度は少ない(3割程度)が、使用している経穴には[3]、ごくたまに使用したことがある経穴には[2]、未だかつて使用したことがない経穴には[1]をお書き下さい。特効穴については、対象疾患(愁訴)をお書き下さい。

経穴使用頻度調査表

No.	経絡	経穴名	記号	鍼治療	灸治療	特効穴としての活用
1	手太陰肺経	1 中府	LU01	3	1	
2		2 雲門	LU02	1	1	
3		3 天府	LU03	1	1	
4		4 侠白	LU04	1	1	
5		5 尺沢	LU05	2	1	
6		6 孔最	LU06	2	2	
7		7 列欠	LU07	2	1	
8		8 経渠	LU08	2	1	
9		9 太淵	LU09	1	1	
10		10 魚際	LU10	1	1	
11		11 少商	LU11	1	1	